



美しい 県土づくりNEWS

2014年

8月

岩手県 県土整備部

手づくり広報誌第121号

平成26年8月28日発行

編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- 2 一般国道340号立丸峠工区の着工式を開催しました！
- 4 (仮称)松山トンネル築造工事安全祈願祭を開催！
- 6 宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路・区界道路『起工式』
- 8 宮古港海岸鉄ヶ崎地区・藤原地区防潮堤工事の「安全祈願祭」を開催！
- 11 平泉町にスマートインターチェンジ設置へ
- 12 道の日イベント 各地で開催
- 13 『森と湖に親しむ旬間』イベント開催！
- 15 河川愛護団体等への感謝状贈呈式を行いました！
- 16 下水道展 '14 大阪に出展してきました！
- 18 いわて花巻空港「スカイフェスタ2014」のご案内

【復興支援道路】一般国道340号立丸峠工区着工！！

～つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ～

県が「復興支援道路」として遠野市恩徳～宮古市小国間で整備を進めている一般国道340号立丸峠工区について、平成26年8月12日(火)に着工式を開催しました。

着工式には、宮古市立小国小学校の児童も参加し、「立丸峠工区開通への想い」を発表していただいた後、児童の工事着工の号令でトンネル掘削工事に着手しました。

県では、今年を「本格復興推進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、1日も早い復興のため、安全に万全を期し、早期完成に向けて工事を推進して行きます。



小国小学校児童による工事着工の号令で
(仮称)小峠トンネルの掘削工事に着手！！

【復興支援道路】

一般国道340号立丸峠工区の着工式を開催しました！

～ 本格復興推進年！トンネル工事が本格化 ～

県南広域振興局土木部遠野土木センター
沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年8月12日、県が「復興支援道路」として遠野市恩徳～宮古市小国間で整備を進めている一般国道340号立丸峠工区の着工式を開催しました。

県、宮古市、遠野市、地権者、工事関係者等約100名が出席し、県土整備部蓮見技監の挨拶の後、山本宮古市長、本田遠野市長が祝辞を述べられました。

着工式には、地元の宮古市立小国小学校の児童も参加し、「立丸峠工区開通への想い」を发表していただいた後、沿岸広域振興局桐田副局長に「立丸峠工区開通への想い」を書いた手紙を渡していただきました。その後、関係者による鍬入れを行い、工事業者と小国小学校児童による工事着工の号令でトンネル工事に着手しました。

県土整備部蓮見技監の挨拶

宮古市立小国小学校の児童の発表



関係者による鍬入れ



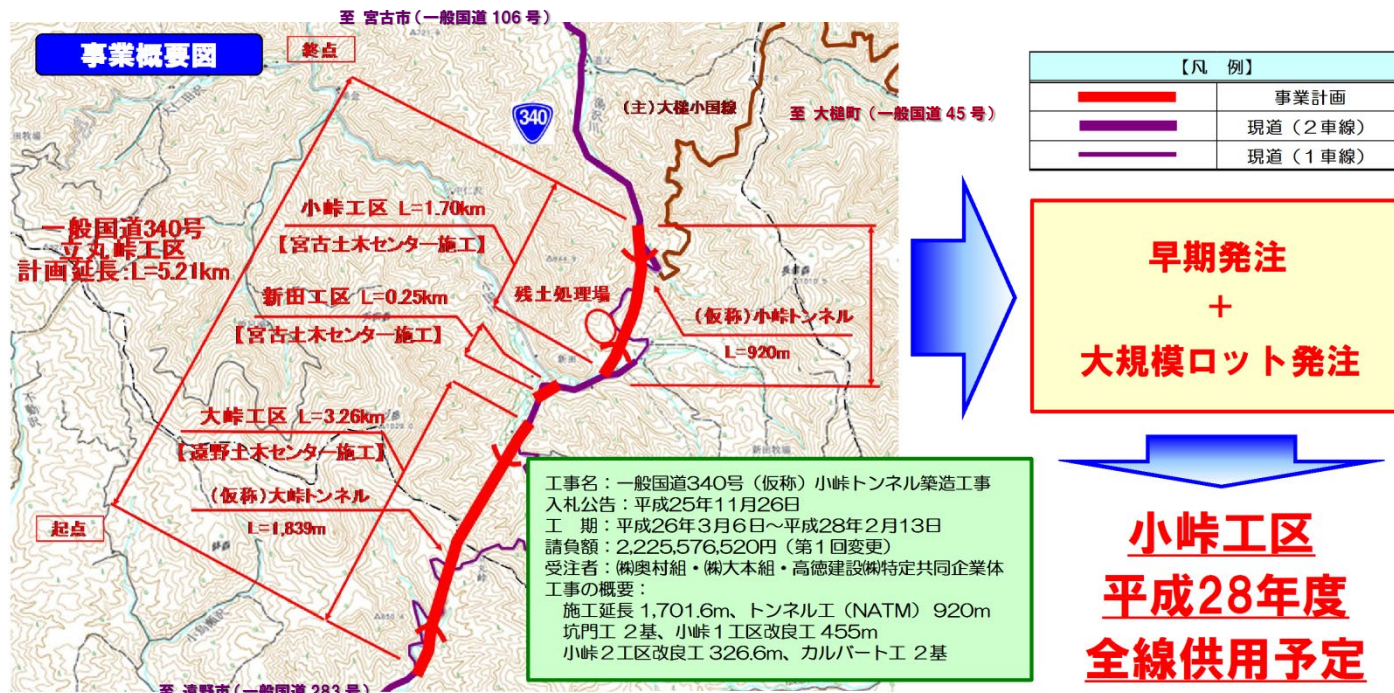
立丸峠工区は、大峠工区 3.26km、新田工区 0.25km、小峠工区 1.70km の3工区から構成される延長 5.21km、総事業費約 85 億円の事業で、平成 24 年 10 月に新規事業化し、平成 30 年度の完成を目指して事業を進めています。主要構造物として、大峠工区に（仮称）大峠トンネル（L=1,839m）、小峠工区に（仮称）小峠トンネル（L=920m）を計画しています。

通常、新規事業化から工事着手までは約 3 年の年月を要しますが、県では、平成 24 年 10 月の新規事業化以来、「地質調査」、「設計」、「用地測量」など、あらゆる作業を並行して進め、新規事業化から約 1 年後の平成 25 年 11 月 26 日には（仮称）小峠トンネル築造工事を入札公告、更に半年後の平成 26 年 3 月には工事着手するという異例のスピードで事業を進めています。

また、（仮称）小峠トンネル築造工事は、トンネル工に前後の道路改良工を含め、小峠工区 1.70km 全線を一括発注する大規模ロット発注を行うことで、工期を大幅に短縮。この「早期発注」+「大規模ロット発注」により、小峠工区 1.70km については平成 28 年度の全線供用を目指して工事を進めていきます。

残る工区についても、新田工区は工事発注済（平成 26 年度供用予定）、大峠工区に計画している（仮称）大峠トンネルについても平成 26 年度中に工事発注する予定としています。

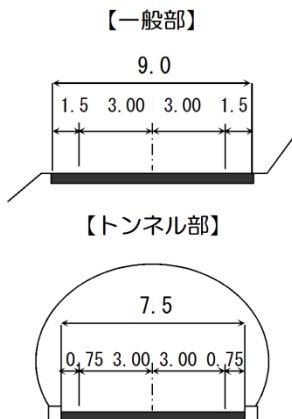
県では、今年を「本格復興推進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、1 日も早い復興のため、安全に万全を期し、早期完成に向けて工事を推進して行きます。



立丸峠工区の整備による時間短縮等



標準断面図



(仮称)小峠トンネル完成イメージ



【復興道路】一般国道 106 号宮古西道路 （仮称）松山トンネル築造工事安全祈願祭を開催！

～ 本格復興推進年！宮古西道路で初めてとなるトンネル工事に着工！ ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成 26 年 7 月 31 日、県が「復興道路」として宮古市松山～宮古市根市間で整備を進めている宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）宮古西道路において、工事の受注者主催により（仮称）松山トンネル築造工事安全祈願祭が開催されました。安全祈願祭には、県、宮古市、地権者、工事関係者等約 60 名が出席し、工事期間中の安全と早期完成を祈念しました。

宮古西道路は、これまで道路改良工事や橋梁工事を進めて来ましたが、今般、**県事業区間で初めてとなるトンネル工事の着工**となります。（仮称）松山トンネルは、トンネル上部に確認されている**松山館跡を保全するためにトンネル工法を採用**した延長 73.0m の短いトンネルですが、地山の地質状況が悪くトンネル全線で補助工法が必要となるなど、**工事には高度な技術を要します。**

県では、今年を「本格復興推進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、（仮称）松山トンネル築造工事は、効率的な施工管理や工程管理、入札不調対策等に配慮して、**トンネル工に広範囲の道路改良工を含めた大規模ロットで工事発注**を行っています。今後とも、安全には万全を期し、受注者とともに**早期完成に向けて工事を推進**して行きます。

安全祈願祭の状況



沿岸広域振興局桐田副局長の挨拶



関係者による納入れ



【宮古西道路の事業概要】

県では、東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く**信頼性の高い道路ネットワークを構築**することを目的として、**三陸復興道路整備事業**を実施しています。

宮古西道路は、宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）の一部として、三陸復興道路整備事業の「復興道路」に位置付けられており、**国と連携して県が整備**を進めています。

- (1) 計画延長：3.6km
- (2) 計画幅員：一般部 7.0（13.5）m、橋梁・トンネル部 7.0（12.0）m
- (3) 事業期間：平成 15 年度～平成 30 年度
- (4) 全体事業費：13,000 百万円（平成 25 年度末までの進捗率約 44%）
- (5) 主要構造物：トンネル 2 箇所、橋梁 2 橋

【（仮称）松山トンネル築造工事の概要】

- (1) 工事名：一般国道 106 号宮古西道路（仮称）松山トンネル築造工事
- (2) 工 期：平成 26 年3月6日～平成 27 年3月2日
- (3) 請負額：929,769,840 円（第 1 回変更）
- (4) 受注者：村本建設㈱・熊谷建設㈱特定共同企業体
- (5) 概 要：施工延長 566.4m、トンネル工（NATM）73m、道路改良工 493.4m 等

宮古西道路の事業概要



宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路・区界道路『起工式』

～ 震災後に新規事業化された県内の復興道路がすべて着工しました！ ～

道路建設課

平成26年8月24日（日）、宮古市区界にて、宮古盛岡横断道路「平津戸松草道路・区界道路」の起工式を国、県、宮古市、盛岡市の共催で開催しました。

起工式には、国土交通省東北地方整備局長、知事、宮古市長、盛岡市長をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員の方々、沿線住民の方々など多数の関係者が出席しました。

オープニングセレモニーとして地元保存会による「田代念仏剣舞」が披露されたほか、起工式では工事の安全と一日も早い完成を祈念して、関係者と地元小学生による鍬入れや工事の土砂をダンプで搬出する工事着工セレモニーなどが行われました。



地元保存会の皆様による「田代念仏剣舞」



達増知事挨拶



縄田東北地方整備局長挨拶



村井岩手河川国道事務所長による事業経過報告



達増拓也知事、山本正徳宮古市長、谷藤裕明盛岡市長をはじめ、鈴木俊一衆議院議員、畑浩治衆議院議員、平野達男参議院議員、主濱了参議院議員、門馬小学校・川目小学校の生徒の方々ほかご来賓の皆様による鍬入れ

今回の『起工式』をもって、震災後に新規事業化された三陸沿岸道路等の県内の復興道路はすべて工事着手となりますが、これも地権者の方々をはじめとする地域住民の方々、国土交通省、沿線市町村等関係者の皆様の御尽力の賜物であり、改めて感謝いたします。

早期の完成に向けて、県としても引き続き関係機関との調整など事業の円滑化に協力していきます。



工事着工セレモニーの様子

【宮古盛岡横断道路の概要】

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約 100km の地域高規格道路※¹ で、**県の復興計画において「復興道路」と位置付けています。**

県が施行する「宮古西道路」のほか、**震災後**に、宮古箱石道路（宮古～箱石）約 33 km、平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草）約 7 km、区界道路（区界～築川）約 8 km の 3 区間が**国の直轄権限代行事業として新規事業化**され、**国の復興のリーディングプロジェクトとして、かつてないスピードで事業が進められています。**

※¹ 東北縦貫自動車道等の高規格幹線道路と一体となり、交流促進や空港・港湾への連絡等を強化する路線

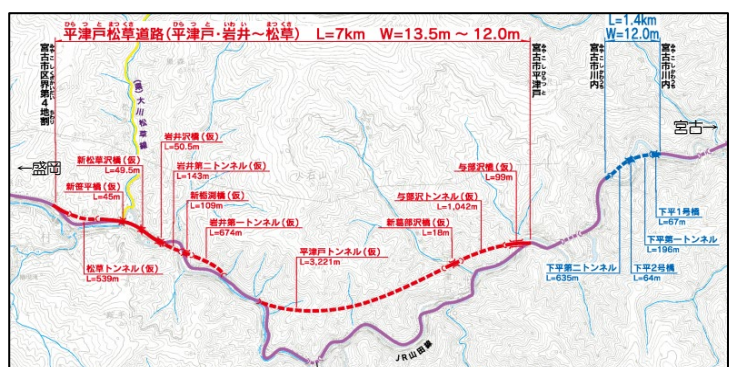


平津戸松草道路は、延長約 7km のうち、約 6km がトンネルと橋りょうで大部分の区間が構造物で占められます。また、区界道路は、本路線の最大の交通難所である「区界峠」を回避するもので、**新区界トンネルは延長 4,998m と東北では3番目、県内では最長の道路トンネル**となります。

これらの整備により、急カーブ、急勾配区間、がけ崩れの危険箇所等の解消による**安全な交通の確保**や、所要時間の短縮による**宮古～盛岡間のアクセス性**や救急医療施設への**速達性の向上**、**地域間の交流・連携の促進、産業振興等への寄与が期待されます。**

【平津戸松草道路】

- ・計画延長 7.0 km※²
- ・計画幅員 13.5m～12.0m
- ・主な構造物※³ 平津戸トンネル 3,221m
与部沢トンネル 1,042m
岩井第一トンネル 674m



【区界道路】

- ・計画延長 8.0 km※²
- ・計画幅員 13.5m
- ・主な構造物※³ 新区界トンネル 4,998m
築川トンネル 1,582m
去石跨線橋 207m



※² 延長については設計途中であり、確定値ではない

※³ 構造物の名称は仮称

宮古港海岸鉾ヶ崎地区・藤原地区防潮堤工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成 26 年 8 月 1 日に宮古市鉾ヶ崎地区、8 月 6 日に藤原地区において、防潮堤工事の着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、宮古港海岸鉾ヶ崎地区及び藤原地区防潮堤工事の受注業者である樋下建設株式会社が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、玉串奉奠等の神事により工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、「関係者の皆様への感謝を申し上げ、早期復旧に向けて全力で取り組んでいきたい」と、挨拶しました。

位置図



安全祈願祭の様子



【鉾ヶ崎地区】



【藤原地区】

宮古港鉾ヶ崎地区の概要

宮古市鉾ヶ崎地区は、住宅地や魚市場、製氷施設などが集積した水産拠点としての機能に加えて、みなとオアシスと道の駅に認定された「シートピアなあと」を有する観光・賑わい空間として活用されている地域でしたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、甚大な被害を受けました。

付近の津波痕跡では、T.P.+11.6mの痕跡高が確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前(平成22年3月)

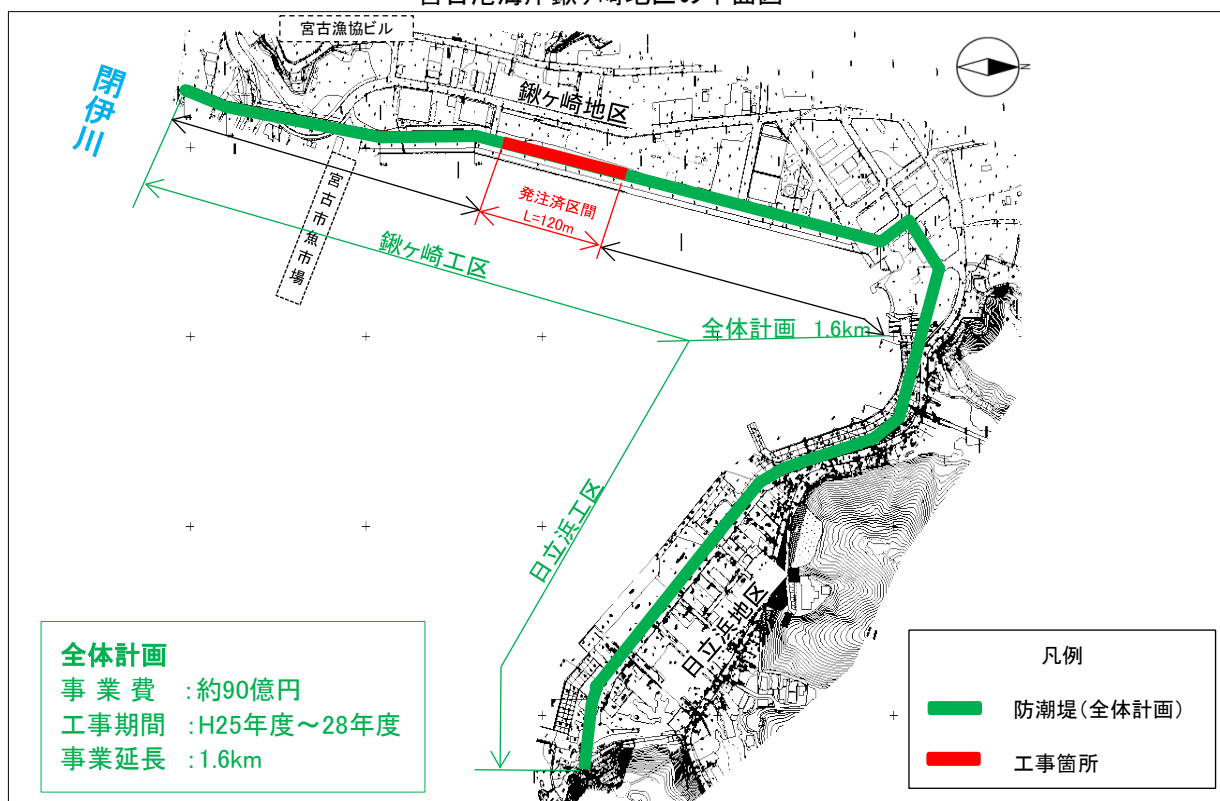


被災後(平成23年3月)

防潮堤工事の概要

鉾ヶ崎地区では、これまで防潮堤が整備されていなかったところですが、県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果等を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高をT.P.+10.4mで新たに整備することとしました。

宮古港海岸鉾ヶ崎地区の平面図



宮古港藤原地区の概要

宮古市藤原地区は、住宅地や水産加工業用地のほか、藤原埠頭周辺では物流拠点や工業用地として活用されている地域でありましたが、平成 23 年3月 11 日の東日本大震災津波により、甚大な被害を受けました。

付近の津波痕跡では、痕跡高 T.P.+11.6m と既設防潮堤高（T.P.+8.5m）を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前（平成 22 年 3 月）

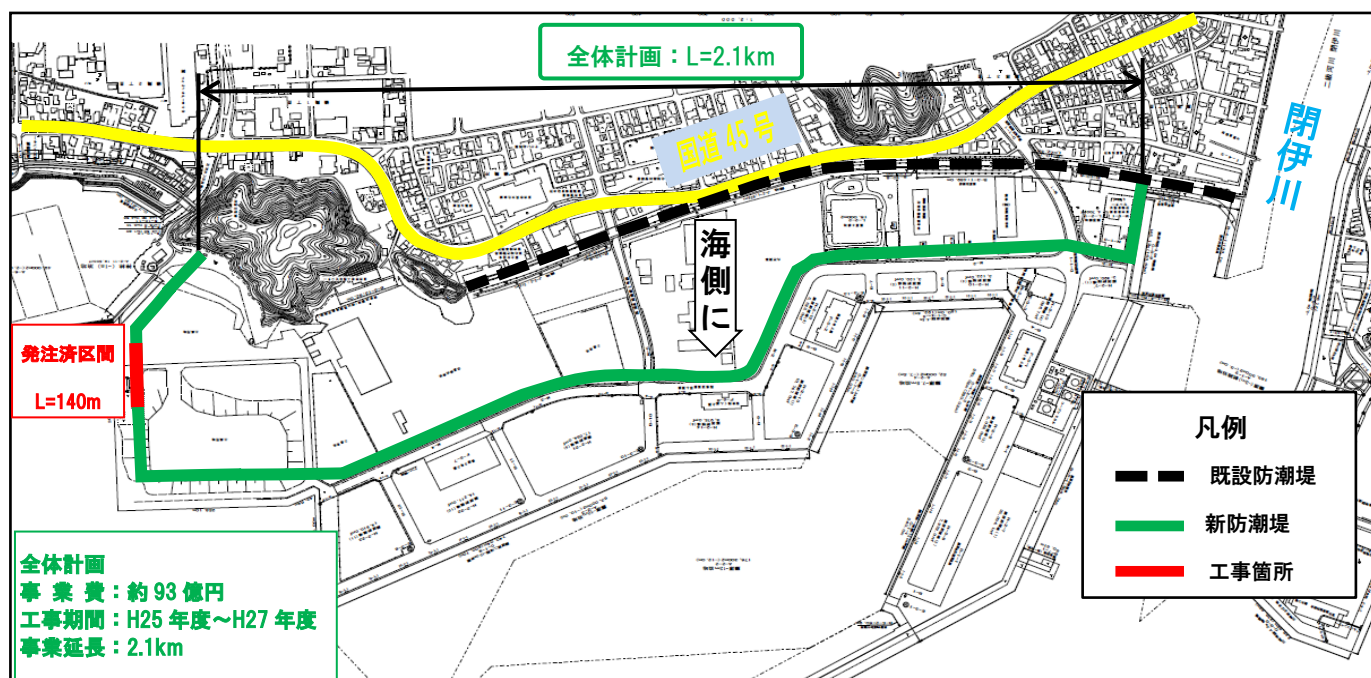


被災後（平成 23 年 3 月）

防潮堤工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果等を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高を T.P.+10.4m で整備することとしました。また、地元からの要望を踏まえ防潮堤を現在の位置から海側に変更しました。

宮古港海岸藤原地区の平面図



平泉町にスマートインターチェンジ設置へ

～世界文化遺産へのアクセス向上など様々な効果が期待されます～

道路建設課

平泉町では、東北縦貫自動車道弘前線の一関 IC～平泉前沢 IC 間にスマートインターチェンジ(IC)の設置を目指して検討を進め、国土交通大臣に連結許可申請を行っていましたが、この度、平成 26 年 8 月 8 日付けで連結許可となりました。

連結許可申請に先立ち、国土交通省、日本高速道路保有・債務返済機構及び NEXCO 東日本に提出した実施計画書は、6月 27 日に設立、開催された地区協議会(※)において承認されたもので、期待される整備効果として、観光客の利便性向上による観光業の振興など4つを挙げています。

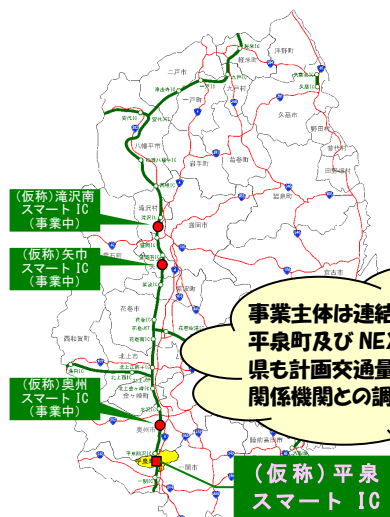
今回の連結許可により、県内では平成 25 年度に連結許可となった奥州、矢巾、滝沢南の各スマート IC (いずれも仮称)に続き4箇所目のスマート IC が事業化されたこととなります。

今後は、関係機関と調整を図りながら整備を推進し、平成 32 年度内の完成を目指します。

※ 地区協議会:関係機関(国、県、町、NEXCO 東日本)、団体等により設置要件、運営方法等を検討・調整を行う機関
「スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱」において設置が定められています



■ (仮称)平泉スマート IC 位置図



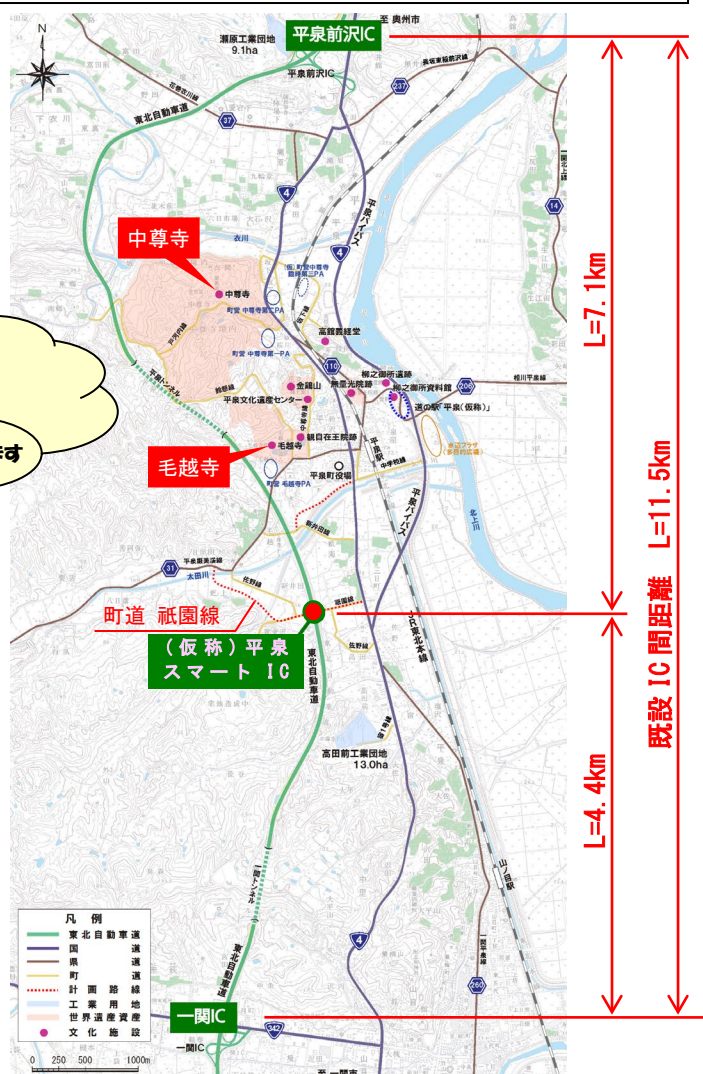
事業主体は連結道路管理者である平泉町及び NEXCO 東日本ですが、県も計画交通量や社会便益等の検討、関係機関との調整等において協力しています

■ (仮称)平泉スマート IC の概要

スマート IC の名称(仮称)	事業予定期間	接続形式 ○ 連結道路
平泉スマート IC	H26 年度 ～H32 年度	本線直結集約型 町道 祇園線

■ 期待される整備効果

- (1)観光客の利便性向上による観光業の振興
- (2)観光期の渋滞緩和
- (3)物流の効率化による
企業誘致の促進及び地域産業の活性化
- (4)居住者の利便性向上



道の日イベント 各地で開催

道路環境課

国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」、毎年 8 月 10 日を「道の日」と定めています。これは、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るとともに、美しく、安全に利用する気運を高める各種運動を実施することを目的としたものです。

岩手県内では計 4 か所で約 400 名が活動に参加し、道路愛護及び道路の適正利用について、意識を新たにしました。

◆ 県北広域振興局土木部「平成 26 年度道の日イベント 塩のみち～久慈市山形町平庭～」

久慈～二戸地域を結ぶ歴史の道を散策しながら、歴史の学習と自然観察を行い、道の大切さや道路愛護の意識向上を図ったもの。



◆ 宮古土木センター「一般国道 106 号フラワーロード計画～お花でまちを元気に～」

国道沿いの歩道にある植樹桝に花を植えて道路環境美化を図るとともに、道路清掃活動を行ったもの。



～子や孫に つなげていきたい 道がある～

(平成 26 年度「道路ふれあい月間」推進標語)



『森と湖に親しむ旬間』イベント開催！



河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』（7月21日～31日）の関連イベントが開催され、たくさんの家族連れや地域の方々の参加により、大いににぎわいました。
県営7ダムについて、その様子をお知らせします。

綱取ダム（盛岡市） 「森と湖 in 綱取 2014！」

平成26年7月30日（水）



好天に恵まれ、子供から大人まで魚のつかみ取りや木工教室、スタンプラリーやダム湖巡航などに参加し、湖畔のひとときを大いに満喫しました。

＜実施内容＞

- ・ダム施設見学、スタンプラリー
- ・木工教室、魚のつかみ取り・森林浴、植物観察会
- ・ダム湖巡航、築川ダムPRコーナー 他

＜参加状況＞

170名

入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2014！」

平成26年7月26日（土）



湖面パトロールや施設見学など他のイベントは盛況でした。参加者に洪水調節の仕組みを説明するなど、ダムに対する知識を深めてもらうように工夫しました。

＜実施内容＞

- ・ダム施設見学、発電施設見学、浄水場施設見学
- ・湖面パトロール、スタンプラリー・ダムライトアップ 他

＜参加状況＞

227名

鷹生ダム（大船渡市）「第6回五葉湖畔の集い」

平成26年8月3日（日）



綾里川ダムから鷹生ダムに会場を移して6回目のイベントとなりました。

天候もよく、多くの方が来場し、グラウンドゴルフ大会、ボート体験など、各種イベントを楽しんでいました。

＜実施内容＞

- ・ダム施設見学、グラウンドゴルフ大会
- ・木工教室、森の工作館エコーゴ展示
- ・ボート体験、気仙スギ積み木競争 他

＜参加状況＞

642名

早池峰ダム（花巻市）「森と湖に親しむ子どもまつり」

平成26年7月28日（月）



ボートによる湖面パトロールが好評であったが、もっとも盛り上がったのが魚のつかみ取りで、子供たちは、水に入らず濡れになりながら楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設及び発電所の公開
- ・カヌー体験、木工細工教室
- ・湖面パトロール ・魚のつかみ取り、稚魚放流 他

<参加状況>

220名

滝ダム（久慈市）久慈・長内川の「滝ダム学習」と「川まつり」

平成26年8月3日（日）



長内川川の会（市民団体）と共催しており、官民が互いの持ち味を活かしたイベントを開催しています。

子供たちは、カヌー・カヤック、浮き輪レースなどを体験し、水に親しみ大いに楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設、発電所の公開、湖面パトロール
- ・カヌー、カヤック体験
- ・イワナつかみ捕り、リース製作、木工教室 他

<参加状況>

1,500名

日向ダム（釜石市）「日向ダム湖半の集い」

平成26年7月26日（土）



天候にも恵まれ、多くの方が憩いの空間を求めて来場し、グラウンドゴルフ大会、木工教室など各種イベントを楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設、湖面パトロール、ニジマスつかみ捕り 他

<参加状況>

465名

遠野第二ダム（遠野市）森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2014 平成26年8月3日（日）



今年で2回目のイベント開催となりました。

子供たちは、ダム施設見学、木工教室やダム湖巡航を体験し、大いに楽しんでいました。

<実施内容>

- ・ダム施設見学、ダム湖巡航、木工教室 他

<参加状況>

31名

河川愛護団体等への 感謝状贈呈式を行いました！

河 川 課

岩手県では、多年にわたり河川環境の美化保全等に顕著な功績のあった、民間の団体又は個人に対して、知事感謝状を贈り表彰しています。

今年度の贈呈式は、7月30日に盛岡市の北ホテルにおいて行われ、佐藤県土整備部長より、北上市の鬼柳の川を考える会に感謝状が贈られ、「これからを担う子どもたちと共に体験活動を通じて自然の良さや保全の大切さに対する意識を醸成し、身近な自然環境である河川環境を住民が率先して保全していることに敬意を表するとともに、引き続き美化活動や保全活動に尽力してもらいたい」とたたえました。

★ 受賞団体

◆鬼柳の川を考える会（通称：メダカの会）〔北上市〕

【代表：星 俊和 会長（鬼柳町柳上） 会員 32 人】

同会は本郷川流域に暮らす鬼柳町地区の住民で構成。平成 10 年の設立以来、本郷川など地域内河川の水生生物調査や水質検査、地元公民館主催の小学生を対象とした生き物調査の活動支援など多彩な活動を展開し、河川環境の美化保全に取り組んでいる。



活動の様子



受賞された皆様、そして県内各地で河川愛護活動に取り組まれている皆様、
いつもありがとうございます。

下水道展 '14 大阪に出展してきました！

下水環境課

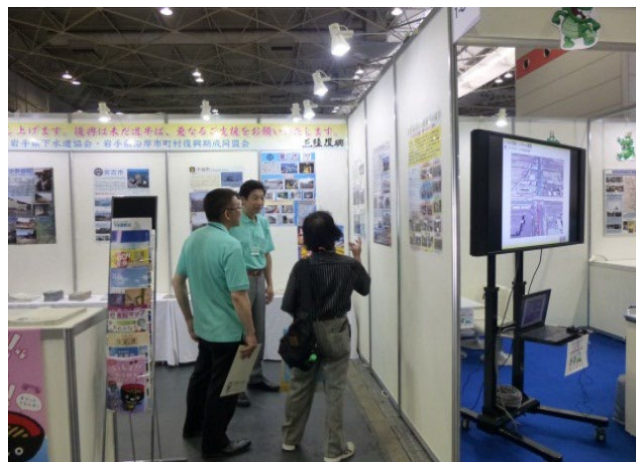
平成 26 年 7 月 22 日～25 日に大阪市で開催された下水道展に「(公財)岩手県下水道公社」、「岩手県沿岸市町村復興期成同盟会」、「岩手県下水道協会」、「岩手県」の共同で出展してきました。

出展目的は、東日本大震災津波以降における全国からの復旧・復興支援に感謝するとともに、未だ、復旧・復興が最盛期にあることを発信し、全国からの支援の継続を訴えることでした。

【出展状況】



【来場者への対応】



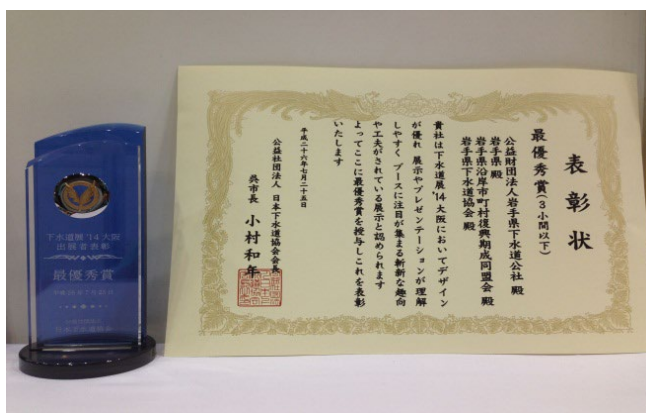
4日間の来場者数は 85,720 人で、岩手県のブースには国土交通省の徳山技監や塩路下水道部長、小村大阪府副知事のほか、本県に派遣職員として応援に来られた方や「復興がどうなっているのか気になっている」と言って来られる一般の方が見学をしてくださいました。

最終日には、約300社が出展した中で、**3コマブースにおける最優秀賞を受賞し**、本県を代表して、岩手県下水道公社の金技師が受賞の挨拶をしてきました。

【表彰式】



【受賞トロフィーと表彰状】



出展にあたり被災状況の資料等の提供をしていただいた沿岸市町村、ノベルテググッズ等を提供していただいた観光課と県南及び沿岸の広域振興局の皆様はこの場をかりて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【出展内容一覧】

出展ポスター

東日本大震災の復旧・復興のご支援に感謝申し上げます。復興は未だ道半ば、更なるご支援をお願いいたします。
岩手県下水道公社・岩手県・岩手県下水道協会・岩手県沿岸町村復興期成同盟会



観光パンフレット等



【終わりに】

本県に応援職員として派遣いただいた大阪府職員の皆様と市内某所で懇親会を行いました。皆さんお元気すぎました！



いわて花巻空港 「スカイフェスタ2014」のご案内



～いわて花巻空港は開港 50 周年！今年はブルーインパルスの展示飛行も実施～

空港課

平成 26 年 9 月 23 日（火・祝）、いわて花巻空港において「スカイフェスタ 2014」を開催します。

今年は、岩手県初となる航空自衛隊ブルーインパルスの展示飛行を始め、防災ヘリや化学消防車の公開展示等、催し物が盛りだくさん！是非、皆さんお誘い合わせのうえ、ご来場ください。

【日時】平成 26 年 9 月 23 日（火・祝）

10：00～15：30（小雨決行）

【場所】いわて花巻空港・花巻市交流会館



【事前に応募が必要なイベント】

◆管制塔・気象室見学

日時：平成 26 年 9 月 23 日

9 時 20 分～15 時 30 分までの間に 5 回
（各回 20 分程度）

応募方法：往復はがき

締め切り：9 月 2 日（必着）締め切り間近！

◆セスナ機遊覧飛行

日時：平成 26 年 9 月 21 日、23 日

※21 日は日中、23 日は午後から夕方まで
飛行時間は 10 分程度となります。

応募方法：往復はがきまたは E メール

締め切り：9 月 10 日（必着）

いずれのイベントも、詳しくは県公式ホームページ内「スカイフェスタ」
（<http://www.pref.iwate.jp/kouwanku>

<http://www.pref.iwate.jp/kouwanku/airport/18635/index.html>）の記事をご確認ください。

【ご来場の皆様へ】

イベント当日は、会場周辺の大変な混雑が予想されます。当日は臨時駐車場もございますが、できる限り公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

また、ブルーインパルスの展示飛行が行われる 11 時から約 30 分間は会場周辺での騒音が予想されますので、ご迷惑をお掛けいたしますが、予めご了承ください。